

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	美術Ⅲ	2	選択	文系	3

教科書（発行所）	高校生の美術3（日本文教出版）
教科書以外の教材	アクリル絵の具，スケッチブック，油彩セット

目 標		美術の創造的な諸活動を通して，美的体験を豊かにし，生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに，感性と美意識を磨き，個性豊かな美術の能力を高める。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	オリエンテーション 基礎描写 課題制作	オリエンテーション 「社会との関わり」という観点から教科書の作品を鑑賞し，美術の働きについて考える。 対象を見つめることや，画材についての基礎知識，形と明暗などについて，再度復習する。 制作活動，鑑賞 これまでの制作活動をもとに，課題を見つけ解決すべきテーマを設定し，制作する。	提出物点検 提出物点検 中間作品 期末作品 提出物点検
	2 学期	課題制作	制作活動，鑑賞	提出物点検 中間作品 期末作品
	3 学期	まとめ	高等学校3年間の美術の集大成として，自らの学びを，ふりかえりまとめる。	提出物点検
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 提出物，出欠状況（遅刻・欠席等）で評価します。 2 実技作品は完成まで責任もって取り組もう。自分以外，その作品を完成させることは出来ません。 3 作品の制作過程，鑑賞活動も重視します。いかに興味を持って取り組み，自分なりの工夫をしたかが大切です。 4 移動教室のため，遅刻をしないように時間に余裕を持って行動すること。 5 美術の基礎的内容を学び，その魅力を理解し，生涯にわたって美術を愛好することが出来るようになります。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	形や色などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，枴や点で構成された作品を，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，色や質感などの表現を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。	身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，構図，材料や用具の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 伝える情報の内容や相手などから主題を生成し，単純化や省略，強調などの効果や，わかりやすさと美しさの調和などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。	主体的に身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考查は行わず，次の4点を元にして総合的に評価します。 1 美術への関心・意欲・態度（美術や美術文化に関心をもち，主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。） 2 発想や構想の能力（感性や想像力を働かせて，主題を生成し，創造的な表現の構想を練っている。） 3 創造的な技能（創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け，表現方法を工夫して表している。） 4 鑑賞の能力（美術や美術文化を幅広く理解し，そのよさや美しさを創造的に味わっている。）		